

夏も近づく八十八夜～から始まる「茶つみ」という歌があります。1912年（明治45年）に「文部省唱歌」として発表された教科書のために作られた曲です。学校で歌ったという方も多いのではないのでしょうか。この歌詞にもある「八十八夜」とは何なのかご存じでしょうか。八十八夜とは、立春から88日目を指します。2024年の立春は2月4日だったのでここから88日目、今年の八十八夜は本日の5月1日になります。八十八夜は「立夏」の直前、春と夏の境目にあたる日です。この頃から気候が安定して温かくなり、農作物の大敵である霜も降りなくなります。また、八十八を組み合わせると「米」という字になることから、稲作をはじめ様々な農作物の作業を開始する目安の日とされてきました。現在は、温暖化の影響で暦より早く温かくなったり、様々な品種のお茶が開発されたことで八十八夜より早い時期に摘採時期を迎える茶葉があったりと、必ずしも八十八夜に茶摘みが行われるとは限らないようです。新年度がスタートし1か月が経ちました。新しい仕事や新しい環境などにまだ慣れない方も多くいらっしゃると思います。知らず知らずのうちにストレスがたまったり、無理をしてしまうことも少なくありません。ストレスは必ずあるものと認識して上手に付き合うようにすることが大切です。

▼ I N D E X ▼

- 【技術関連情報】 ・ chemSHERPA
- 【関連製品紹介】 ・ レーザースキャナー
- 【お知らせ】 ・ 『レーザーEXPO 2024』のご来場御礼

■ 技術関連情報 ■
chemSHERPA

chemSHERPA（ケムシェルパ）とは、製品に含有される化学物質の情報を川上企業から川下企業までサプライチェーン全体で適正に管理し、確実かつ効率的に伝達するために、経済産業省主導で2015年に開発・リリースされた情報伝達共通スキーム、データ作成支援ツールの名称です。現在は、JAMP（アーティクルマネジメント推進協議会）が運営しており、chemSHERPAの利用ルールを決め、データ作成支援ツールの提供や定期的な見直し・バージョンアップなどを行っています。最終製品は多数の部材・部品で構成されており、各部材・部品は規制対象化学物質を含有している可能性があります。それらをきちんと把握・管理し情報伝達できる書式としてchemSHERPAは活用されています。一般的には川上企業から川中企業、川下企業へと流通が行われ、複数の企業が関わることで製品が完成し、顧客のもとへ届けられます。そのような状況において、世界各国の環境法規制への対応、人の健康と環境の保護を促進していくためにも、企業は製品に含まれる化学物質の情報を適切に管理し、「責任ある情報伝達」を行う必要があります。サプライチェーン全体の情報伝達が共通化できるよう、chemSHERPAには情報伝達の対象範囲となる「管理対象物質」、製品含有化学物質情報として伝達すべき「情報項目」、情報伝達のための「データフォーマット」等を定めた利用ルールが存在し、情報伝達を行うすべての組織が遵守しなければいけません。chemSHERPAに取り組むことで、企業にとっては化学物質に関するリスク管理ができると共に、企業の信頼性を向上させることができます。製品含有化学物質情報を顧客に提供可能となることは、ビジネスチャンスにつながる可能性もあります。ただし、非常に複雑かつ正確な情報管理が重要になってきます。また、今後法規制等が変更された場合は随時変化に対応し、継続的に取り組んでいく必要があります。当社も必要に応じて利用させて頂いております。

データ作成支援ツール
<https://chemsherpa.net/tool>

経済産業省 chemSHERPA - 製品含有化学物質情報伝達スキーム
https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/other/douga_gaiyou.pdf

(菊地原)

■関連製品情報■
レーザーキャナー

弊社では、技術関連情報でご紹介した、レーザーキャナーで
お客様のご要望にお答えしております。
お困りの案件がございましたら是非お気軽にお問い合わせ下さい。

▼製品カタログダウンロード/お問い合わせはこちら▼
<https://alt.mrc-s.com/laserscanner/>

■お知らせ■
1. 『レーザーEXPO 2024』のご来場御礼

『レーザーEXPO 2024』では、当社ブースに多くの方々にお立寄りいただきました。
尚、混雑したブース内で十分にご説明・ご紹介ができないケースもあったか
と思われます。
ご質問、ご意見、デモ機貸し出し等ございましたらお気軽にお問い合わせください。